

腎臓病総合医療センターは腎臓病の診療に対応するために構成されたチームです。



腎臓病のすべての領域へ

腎臓病総合医療センター

×

増子記念病院



腎臓病総合医療センター
Masuko Renal Care Medical Center



詳細は当院ホームページにて

増子記念病院

検索

腎臓病総合医療センターの特長

腎臓病総合医療センターは、当院が腎臓病の専門病院として「**腎疾患のすべての領域**」の診療に対応するために組織する、腎臓内科、透析内科・透析外科、腎移植科、泌尿器科、リウマチ・膠原病内科等、関連診療科で構成する大きな診療チームです。



末期腎不全への腎代替療法として、**血液透析、腹膜透析、腎移植までのすべて**が実施できる体制をとっています。

また、当院は昭和48年に維持透析療法を開始しており、名古屋の透析療法黎明期から患者さんへの良質な血液透析療法を目標に、終始一貫して積極的に取り組んできました。

透析治療について

4つの特色ある透析室で計145ベッド、サテライト透析センター（増子クリニック）では103ベッドを有し、現在約700名の透析患者さんが通院をしています。また、予後改善が期待できる長時間透析、深夜長時間透析（オーバーナイト透析）、在宅血液透析、腹膜透析、ハイブリッド透析と**多様な透析療法**に対応しています。

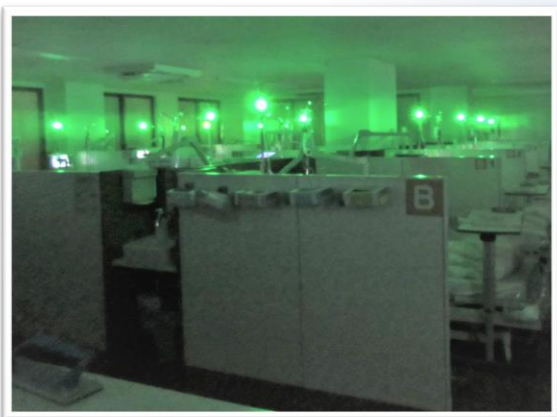


腎移植について

歴史的には**東海地方で第1例目**の献腎移植手術が当院で行われました。名古屋第二赤十字病院腎移植科と連携し、直近1年間（2018年度）では生体腎移植手術を7件実施しています。また、フォローアップのため外来治療中の腎移植後患者さんは400名を超えます。優れた実績で高い評価を受けている腎移植専門医師が複数名着任し治療にあたっています。



深夜長時間透析について



名古屋市内の医療機関で**唯一、深夜長時間透析（オーバーナイト透析）**を実施しています。入院施設を有し、夜間でも医師が駆けつけることのできる態勢により実現しています。患者さんは現在60名を超し、国内有数のレベルにあります。

※日本の夜間透析患者率は13%弱ですが、衆済会では25%を超えています（2019年6月現在）

慢性腎臓病の充実したサポート体制

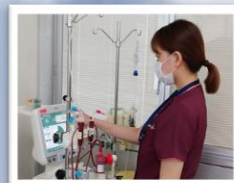
2010年より院内認定資格である**CKD（慢性腎臓病）エキスパートスタッフ**を設立し、看護師、臨床工学技士を中心とした専門知識を持ったスタッフが、様々な部署に在籍し活躍しています。

外来を中心に、CKD各ステージの患者さんに看護相談を行っており、それぞれの病状に合わせた療養指導、症状の相談や合併症予防の支援を行っています。



多職種によるチーム医療の実践

当院では40年以上前から、「患者さんのために」を真剣に考え、良質な医療を担保するために、「**多職種が参加するチーム医療**」を実践してきました。



腎臓病分野に精通し、それぞれの**専門性を備えた**看護師、臨床工学技士、リハビリスタッフ（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）、薬剤師、管理栄養士などが医師と協働することで、総合的ケアの実現を可能にしています。

腎臓病療養の相談支援

腎臓機能障害による障害者手帳申請（これによる医療費の自己負担の軽減）や障害年金の申請、介護保険や各種福祉サービス等の公的制度の利用、入退院や施設入所の相談、医療費や生活費など経済的問題等、状況に精通し**専門的視点を持った**医療ソーシャルワーカーが、各職種スタッフと連携を取りながら相談に応じ、患者さんが可能な限り生活面で困ることなく治療を続けられるよう支援します。

